



# ひしのみ

山形市立明治小学校  
学校だより  
R5.6.26 発行  
第4号  
文責：森谷 弘昭

## 令和5年度 第1回学校運営協議会が開催されました

学校運営協議会とは、教育委員会から任命された学校運営協議会委員（保護者・地域の方の代表など）が、学校運営について話し合う会議のことです。その話し合いを重ねながら、学校と地域が連携・協働して子供たちを育てる活動を生み出していきます。この組織が誕生して2年目になりますが、齋藤弘雄 地域学校協働活動推進員より地域住民と学校との連絡調整等をコーディネートしていただきながら、お陰様で充実した地域学習・教育活動が実現しております。

例えば、5年生の稲作体験学習が、学校敷地東側にある土地を利用できるようになりました。また、他の学年が、その土地の一部を利用して、植物を植えたり、自然を観察したりと、今後の学習も含め効果的に活用できるようになりました。



活動場所が学校の近くにあることで、子供たちは時間を気にすることなく、存分に体験活動に興ずることができます。本当に有難い限りです。

学校運営協議会は年に3回（第2回10月、第3回2月）開催されます。学校経営の中核をなす「**子供も、教師も、保護者、地域も学び合う学校**」の実現のためには、地域の有効な人的・物的資源はどうしても必要不可欠です。今後ともよろしく願いいたします。

以下が今年度の委員の皆様です。活動とともにご承知おきいただき、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

佐藤	博雄	委員長	（明治コミュニティセンター所長）
安達	好行	副委員長	（明治地区町内連合会長）
小林	広美	委員	（教育振興会長）
真壁	正則	委員	（社会福祉協議会会長）
佐藤	恒	委員	（明治小学校同窓会長）
安達	敏一	委員	（明治コミュニティセンター運営委員会理事）
松崎	学	委員	（教育活動アドバイザー）
多田	照美	委員	（学童保育「ひしのみこどもクラブ」指導員）
高梨	由起	委員	（明治小学校元PTA会長）
高橋	愛	委員	（明治小学校PTA会長）

## 今年も、おいしい🍒さくらんぼ🍒をいただきました

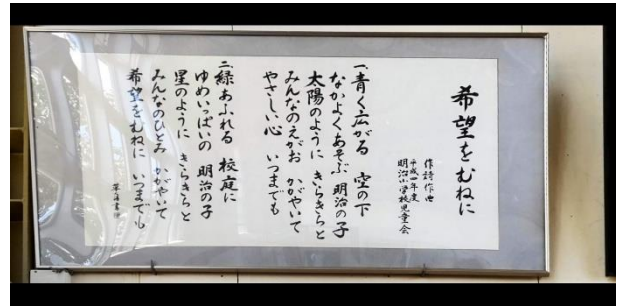
6月19日（月）に、さくらんぼ贈呈式を行いました。地域の生産者の皆様から代表の子供たちに直接贈呈していただきました。ご厚意に甘えておりますが、高価な品物を一粒一粒味わいながらごちそうになりました。心より感謝申し上げます。



# 創立132周年記念を祝う集いを行いました

今日は、明治小学校の誕生日を祝う日です。同窓会長  
の佐藤恒様をはじめ、たくさんのお客様がお祝いにおい  
でくださいました。大変ありがとうございました。

さて、今日は、皆さんがこれから歌う「希望をむね  
に」の歌について、お話をします。(中略)「希望をむ  
ねに」は、今から32年前の平成3年、明治小学校創  
立百周年を記念して、2年がかりで子供たちと先生の  
手で作られた歌です。明治小学校のみなさんが、これ  
からも仲良く元気に過ごしていけるようにとの思いをこめて、みんなで作った曲です。みなさんのお父さん  
やお母さんが、その当時の1年生から6年生だったという話を聞いていますので、興味があつたら家に帰っ  
てから尋ねてみてください。



それでは、この曲がどうやってできあがったのか、この曲づくりの中心になった先生からお聞きしたお話  
をもとに、もう少し詳しく紹介してみたいと思います。

(作詞にあたって) 高学年のみなさんが歌詞を考えてくれました。「明治小学校はどんな学校だろう。」  
「みんなのいいところは何だろう。」「大事にしていきたいことは何かな。」と、今までとこれからの自分  
たちのことを思いながら言葉を出し合いました。その中から、明るく元気で優しい明治小学校のみなさ  
んのよさが伝わるような言葉を選び、青い空・なかよし・太陽・笑顔・緑・夢・瞳などの言葉をつない  
で歌詞をつくりました。これからも、よさを大事にしながら、一人一人が未来に向かって「希望をむね  
に」大きく羽ばたいてほしいという気持ちが込められています。

(作曲にあたって) はじめに、高学年のみなさんから、歌詞に合う簡単なメロディーを考えてもらいまし  
た。その中から選んだいくつかのフレーズをつないで、曲をつくりました。明るく、わくわく・キラキラ  
したイメージがする親しみやすい曲になるように、歌詞に合わせていきました。なめらかな前奏から始ま  
り、途中からリズム感のあるピアノ伴奏によって、歌の楽しさを感じてもらえるような曲にしました。最  
後の「ラー ラー ラー」のハーモニーは、未来につながっていくような響きになればと考えました。

(中略) 学校は今日で132歳、「希望をむねに」は32歳になりますが、できあがった年は違っても、  
その歌に込められている思いや願いを受けとめ、52人ひとりひとりが心を込めて歌を歌い、学校の誕生を  
お祝いしましょう。そして、これまでたくさんの先輩方が築いてきた歴史と伝統を受け継ぎながら、新しい  
時代に合った明治小学校を創り続けていきましょう。創立記念日にあたり、みんなで大切なことを確かめ合  
いながら、結びのあいさつといたします。

令和5年6月8日 山形市立明治小学校 校長 森谷 弘昭 (校長あいさつ)

明治小のお祝いの言葉 (代表児童あいさつ)

新しい学年が始まって二ヶ月がたちました。みなさん、明  
治小でのこの二ヶ月間はどうでしたか。僕は、たくさん遊ん  
で過ごすことができていて、これからも楽しみたいです。

皆さんは明治小のことはどう思いますか。僕は、誰もが笑  
顔で、仲がいいことが明治小のよいところだと思います。た  
まにけんかをして、次の日には仲直りをしているところが  
好きです。僕は五年生の後半ごろ、朝休みに体育館に行っ  
ている友達を見つけました。その人についていってみると、  
体育館では、ドッジボールをしていました。すると、「一緒  
にやろう」と友達がさそってくれました。とても嬉しくて、  
それから毎朝遊んでいます。毎日、仲良く友達と遊べること  
がとてもうれしいです。

これから僕の明治小での思い出を話します。これまで、学  
習を通して出会った人、お世話になった人がたくさんいま  
した。

まずは、二年生の時に行った山寺です。山寺では泣いたり  
笑ったりしました。遠藤さんという方に出会い、玉こんにや  
くを食べ、千以上の階段を上りきった後、みんなで見た景色  
は、とてもきれいでした。

次は、四年生での水生生物調査です。室岡さんと出会い、  
草むらや岩かげにいる生き物についてたくさん教えてもら  
いました。上流で、室岡さんがヘビトンボをさつと捕まえた  
した。室岡さんの動きは、職人みたいでした。

次に、五年生での米作りです。米農家の室岡さんと青年部  
の人と会いました。とても丁寧で、苗の植え方や稲の刈り方  
を教えてくださいました。少し大変でしたが、頑張ることができ  
ました。

最後は委員会引継ぎです。去年の六年生は、委員会でする  
ことや大変さを教えてくれました。委員長になるという重  
大なことを僕たちに任せられ、六年生への第一歩を感じま  
した。

このように明治小ではたくさんの人と出会い、支えられ  
てきて、ぼくたちは成長してきました。百三十二歳になった  
明治小、いろんな人と出会わせてくれてありがとう。そして  
誕生日おめでとう。これからもよろしくお願ひします。